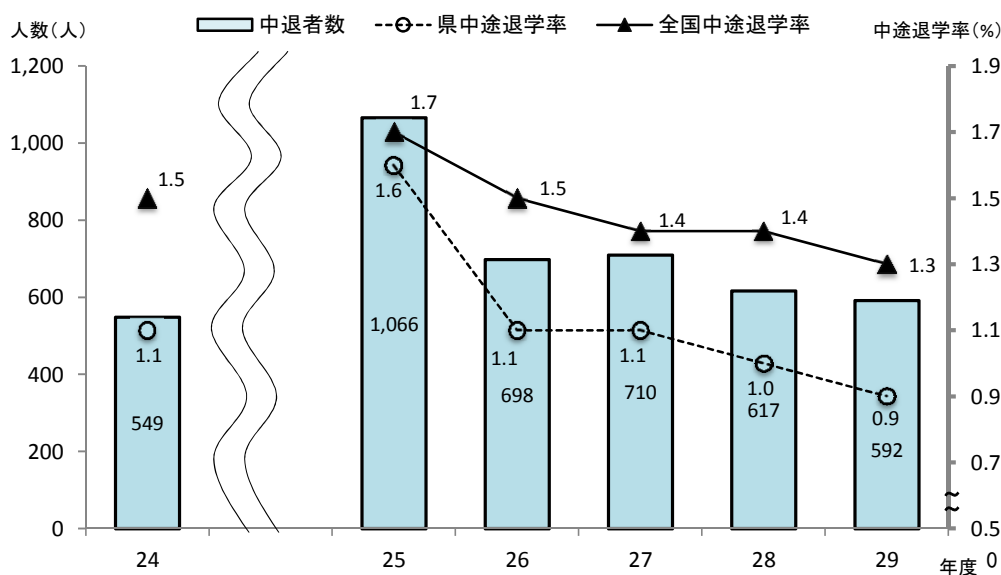


平成29年度 高等学校中途退学者の状況について (公立・私立高等学校)

心の支援課

1 中途退学者数及び中途退学率の年度別推移



年度		24	25	26	27	28	29
中途退学者数合計		549	1,066	698	710	617	592
前年度増減		▲49		▲368	12	▲93	▲25
中退退学率(%)	県	1.1	1.6	1.1	1.1	1.0	0.9
	全国	1.5	1.7	1.5	1.4	1.4	1.3

- (注) 1 調査名:文部科学省「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
 2 平成24年度までは、公立学校全日制・定時制課程の数値
 3 平成25年度からは、公立、私立学校、全日制・定時制・通信制課程の数値
 4 平成29年度調査対象校:県内公私立・高等学校115校
 5 (中途退学率)=(中途退学者数)÷(年度当初の在籍者数)×100〔%〕

・高等学校中途退学者数は前年度に比べ25人減少
 ・中途退学率は0.9%(前年度比-0.1%)

2 中途退学の理由

退学理由	平成29年度		
	県		全国
	人数(人)	構成比(%)	構成比(%)
学業不振	18	3.0	7.6
学校生活・学業不適応	260	43.9	34.9
進路変更	156	26.4	34.7
病気、けが、死亡	27	4.6	4.3
経済的理由	12	2.0	1.8
家庭の事情	27	4.6	4.2
問題行動等	35	5.9	3.9
その他の理由	57	9.6	8.6
合計	592	100.0	100.0

・県全体の構成比では、「学校生活・学校不適応」が43.9%、次いで「進路変更」が26.4%となっている。

3 現状と取組の方向性

(1) 現状

- ・ 高等学校中途退学者数は前年度に比べ 25 人減少
- ・ 過去 5 年間の中では最少

(2) 取組の方向性

- ① 学校生活・学業不適應の早期発見と早期対応
 - ・ 入学前後、中高連携による生徒支援に関わる丁寧な情報の共有、引継ぎ
 - ・ 入学時のオリエンテーションなどを利用したスムーズな高校生活への移行
 - ・ 生徒たちの良好な人間関係づくりを支援する取組を推進
 - ・ 教職員と生徒の良好な人間関係や信頼関係づくりを推進（学校生活アンケート等の実施）
- ② 基礎学力の定着や学習意欲を高めるための授業改善及び学習支援の工夫
 - ・ 生徒の実態に合わせ、授業の方法や教材などを工夫した「わかる授業」の実践
 - ・ 学習の躓きや基礎的な学力に不安をもつ生徒への「学びなおし」講座や補習授業等の実施
 - ・ 高校生活の目的意識を高めるためのキャリア教育の推進
- ③ 不安や悩みを抱える生徒への相談支援体制の充実
 - ・ 教育相談コーディネーターの役割を明確化
 - ・ 「不登校への対応の手引き（改訂版）」を活用した職員研修の実施（未然防止、早期発見、早期支援）
 - ・ アンケートとショート面接を活用した相談体制の充実
 - ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による相談支援体制の充実
- ④ 中途退学者の社会的な自立を見据えた支援の充実
 - ・ 学習や就業のための技術習得へ向けた各種学校との連携
 - ・ 就業支援に向けてハローワークなどの公共機関や民間支援団体との連携
 - ・ 「新たな進路のために（各種相談窓口の案内）」平成 30 年度版の活用